

S227

VR 3n + 24

1938

(1)

Diary.

Ornithology

1938

(1)

Jan. 1. — June 21.

1. (土) 雨量

節加 = 結句 > 延一ル 朝ハ (例、例) パレ = 紅葉 = 7
 節ハ 午以一等遅 結句 = 一此ノ里木ハ秋 延一 = 太サレ
 手製、正月初日 = 正月ノ秋ノ 果、ハ先、向
 スト一、實カ中 = 太サレ (此邊山台の田元、)
 節、正 = 結句、一在ヤリサン、ハ秋ノ 生マリヲ愉快
 ハ、田、果、サレ 結句、中、サ、サレ = 秋、
 此ハ、ハ

今取共3袋+11L→10日

— 月 —

2 (日) 晴

朝十一時去室 旧先小川一 20 分、7 日比右 右平坐
：二午の五時 27 万、12 分 7 分 以 銀止 - 七
リ 金に 20 分

熊谷丸 親戚 四来、以 吃才 北平 - 21 分
中川丸 一 即止 10 分 研元所、行十 奇如、20 分
出 - 11 分 10 分 親高 気 20 分 21 分 20 分
不在中、大内 夫及 夫人、力 東 20 分 21 分 20 分

年 20 分 21 分 20 分 21 分 20 分 21 分 20 分
後下、親高 20 分 21 分 20 分 21 分 20 分 21 分 20 分

— 月 —

3 (日) 晴

此の川丸、親事、20 分

松田丸 - 即止 - 20 分 21 分 20 分 21 分 20 分 21 分 20 分

7 中島 20 分 21 分 20 分 21 分 20 分 21 分 20 分

— 月

4. (大) 晴

朝 一郎 京都・熊石政記の訪り・以 田部エミ

大定 十時十分・京市・東大醫院・等

朝 京大生 朝野勲典 米訪 長石節文館 等
お持参 かん Kapital 読者 等 等 等 等
長石節文館 等 等 等 等

午 二時二十分 夫人 夫人 夫人 夫人 夫人

お 夫人 夫人 夫人 夫人 夫人

午 三時十分 夫人 夫人 夫人 夫人 夫人

夫人 夫人 夫人 夫人 夫人

— 月

5. (水) 晴

大 山 代 堀 在 亭 贈 書 等 等

大 山 代 堀 在 亭 贈 書 等 等

午 三時十分 夫人 夫人 夫人 夫人 夫人

夫人 夫人 夫人 夫人 夫人

夫人 夫人 夫人 夫人 夫人

6 (土) 時

此即：引证「世界经济年鉴」定例：之「统计」
 部以所「中岛」之「统计」之「统计」之「统计」
 的「统计」中，「统计」之「统计」之「统计」
 统计「统计」

下条为对全厂四壁设计唱台之台费、为建
之以后，通知一日报知，以便及时唱台之
在通知状（更等此之唱台）到案。

7 (全) 部

有以所先期休戚之說，再定其前十一時中之所
以振其所以役其計化之說也，此乃其說也。

世界經濟史 (室不健全, 感熱, 書之)
河田節郎史一書十通

设计图中川史的 网络设计唱今人莫尔(做)

7 方 區 町

不在中方回子=大人訪日カーンカ記に在る此
意の時一知所

— 月

8. (土) 晴

午前十一時 大雨

午後一時過退所 大内夫人、所に山、内室と夫
と保族、件々、内室、龍、山、内室、事情、山、
然、夫、夫、事、二、所、代、山、正、幼、山、龍、色、山、
山、山、山、山、山、山、山、山、山、山、山、山、
山、山、山、山、山、山、山、山、山、山、山、山、

夕、龍、夫、夫、夫、夫、夫、夫、夫、夫、夫、夫、
山、山、山、山、山、山、山、山、山、山、山、山、

— 月

9. (日) 晴

午前、山、山、山、山、山、山、山、山、山、山、
山、山、山、山、山、山、山、山、山、山、山、山、
山、山、山、山、山、山、山、山、山、山、山、山、
山、山、山、山、山、山、山、山、山、山、山、山、

山、山、山、山、山、山、山、山、山、山、山、山、
山、山、山、山、山、山、山、山、山、山、山、山、

一月

10. (日) 晴

朝+時去堂 4時45分、天作史元の方で母室へ而
令 北田垣元と市色様、位可の母と又二つ、東門
向來所哉研或可、北門合又、史元史、~而令室
飯、馳走、+ 午頃一時許去書所

大内史~電話、北田垣元元と知れ

坂本史、(町) 北史元知方、付史元、 $\frac{1}{2}$

午頃一時許、史元史、北門所其可、至北門所、
費、史元、田舎

能元史、今朝、史元、史元、田舎
又、史元、午頃、史元、史元、田舎

一月

11. (火) 晴

史元史、北門所其可、史元史、 $\frac{1}{2}$ 史元史、 $\frac{1}{2}$ 史元史、 $\frac{1}{2}$
史元史、北門所其可、史元史、 $\frac{1}{2}$ 史元史、 $\frac{1}{2}$ 史元史、 $\frac{1}{2}$

— 14

12 (114) $\frac{11}{17}$

12. (1) 情
 余方之憂^レと^レ云々^レ流行^レ際^ニテ^レ 予^ハ之^ノ文^ヲ書^キ節^ヲ
 之^ノ電^ヲ送^リ之^ル也^{ナリ} 此^ノ可^シト^ス 暮^ス

— 1)

13 (本) 書

13 (木) 晴
 古の歌生えたる 傳ひぬき 聖心 = 歌の ありては 3)
 花の 会事、根の 親用、心地なる こと
 一節一 陽、横叶、停 + 9 伝音 台、口、花、禁、伝

— 4 H

14 (全) 冊

此日，社生甲、乙：吸烟， $\bar{x} = 0.1$ ，故 $\frac{1}{n}$ 且 $\bar{x} = 0$

沐上、温の天を横ハ

同慶高木交二節在 一此日氣中中一於此 吉口

今以差別式、 π 兩、以板夾 - 電話: 付、 π 上、

无(引)心贵

4. 青村支人 各2 = 人口件 未完

— 77 —

15 (±) 10

此口可作 统计数 故又 又记各气 处 何 片 零 元

J. J. de S., General Secretary Methodist 大-
會差班差通知、此2m 按月份、3、3

— 月

16 (口) 晴

整ニナリ 暖候ニ別ニ 大ニナリナリ 今方 全快ト

行カズ 川流ナリナリ

午頃 白根 然ニ此 大ニナリナリ

午頃 大ニナリナリ 大ニナリナリ

行ニ別ニ 大ニナリ 然ニ此 大ニナリ

— 月

17 (口) 晴

既ニナリ 然ニ此 大ニナリ 今方 全快ト

— 月

18 (火) 曇

既下り 読書 教員 午後一時向学校へ

— 月

19 (水) 晴

朝立大生 朝野史 訪 長太郎史 1/21 レーニング著
書一冊ヲ読ス

大分気分よく 午後五時 文部省 読書

よサン・ロザン 大分快復 二カケニ要ヤリナリ大
リニニナキヤウナリ

一月

20 (本) 西

川流不息 统计数散见 如卡哥-卡以-特向计,

统计

卡以-以 统计数散见 如卡哥-卡以-特向计

一月

21 (金) 晴

大伴气快 午前十时, 吹了东北风 宜会, 以-特向计

计, 宜本福迎 20 散见, 试: 以

— 月

22 (土) 曇

今日晴より金に転換 金事、寂しい所へ行った
午の折柄、至り要約の用、建物建設会社へ支払。
至り、予定建設、付金せられた

正立一階の窓、外へ、中へ、再々、夕陽
整頓、其、大い、また、せうに
月、能く、光、る、所

— 月

23 (日) 晴

金、取、歩、の、外、向、の、花、の、庭、開、始、大、人、の、手、入、り、
の、後、に、ト、ス

能く、光、る、所、の、外、向、の、花、の、庭、開、始、大、人、の、手、入、り、

の、後、に、ト、ス、中、に、能く、光、る、所、の、外、向、の、花、の、庭、開、始、大、人、の、手、入、り、

24 (月) 晴

久留同友一 紀元氣也望，弘寧；語人 大傳曰意

ヲ表す

午. 13 四時, 是所由也

2-1- 古の掃除 = 米室^{こめむろ}小庭、松 → 才人^{さいにん} 室^{むろ} 以^も
外室内 = 小庭^{こてい} - 登初^{のぼり} → 才人^{さいにん} 本階 = 小庭^{こてい}
松竹 = 室^{むろ}

下内已印出此分限，高麗令，費送付中此
T-301中，送此，只，意，只，只，只，只，只

25-(大) 晴

午前十時在去所

牛以 堆田 東來 所 難 獲 又 仇 久 与 处 学 = 付 弘 聖)
 此 以 焚 燬 之 表 示

牛収の時計は、銀生吸部時計は、快便に
 計、時計、受取、已故の舊中、及、略、
 1、向、為、要、用、買、木、主、地、業、区、依、持、印、東、
 空、入、進、開、路、は、一、通、り、即、ち、一、二、三、
 番、に、高、士、空、の、此、の、路、に、礼、の、証、計、有、留、
 後、已、故、一、第、一、買、木、主、地、業、区、

總計表已填完 今朝 寧靜、OK

— 11 —

26 (水) 晴

午前十一時迄

以村史 - 記念館に現存するもの、調査方面
、神田上土地永年 - 付記要方依頼

蔵書、再整理 - 着手

午後二時、吹上田舎 - 部史本所、本日四日
計画、覚悟連中、今後 - 把柄 平素、因
際設計協会、本所、今後 - 本所、付内、意
、今、健康、現由、求証、事情、の本、
、改、因、付、記、出、知、本、好、意、以、
、本、二、本、一、本

午後四時迄、本所、本所、本所、
、本、本、本、本、本、本、本、本、

— 12 —

27 (木) 晴

午前十一時迄

本村史 - 本所、本所、本所、
、本、本、本、本、本、本、本、本、

、本、本、本、本、本、本、本、本、
、本、本、本、本、本、本、本、本、

、本、本、本、本、本、本、本、本、
、本、本、本、本、本、本、本、本、

、本、本、本、本、本、本、本、本、

、本、本、本、本、本、本、本、本、

、本、本、本、本、本、本、本、本、

、本、本、本、本、本、本、本、本、

28 (金) 晴

午前十時過ぎ、大井中央線に駕取—のり、

1. 快取、

7-11 十一時半過ぎ、至り二八分、大井

就寝、以二時散令

大井—至り、大井部研究室—入、定取、取、取、

令上井、恒太史、有線(矢野史、揮毫)研究室—寄

附、1件、取、

経済学部事務室—行、山崎、矢野、史、大井、

1件、史、大井部研究室—至り、大井部研究室—入、

又事務室、大井部研究室—至り、大井部研究室—入、

2件、大井部研究室—至り、大井部研究室—入、

内、大井、

大井部研究室—至り、大井部研究室—入、

他、大井部研究室—入、

午後四時過ぎ、大井部研究室—入、

通商部、大井部研究室—入、

快取、五時半過ぎ

再び大井部研究室—入、大井部研究室—入、

新木部、大井部研究室—入、大井部研究室—入、

後、大井部研究室—入、大井部研究室—入、

29 (土) 晴

午前十一時半過ぎ

十一時半、大井部研究室—入、大井部研究室—入、

大井部研究室—入、大井部研究室—入、

大井部研究室—入、大井部研究室—入、

大井部研究室—入、大井部研究室—入、

大井部研究室—入、大井部研究室—入、

大井部研究室—入、大井部研究室—入、

大井部研究室—入、大井部研究室—入、

大井部研究室—入、大井部研究室—入、

大井部研究室—入、大井部研究室—入、

大井部研究室—入、大井部研究室—入、

大井部研究室—入、大井部研究室—入、

大井部研究室—入、大井部研究室—入、

大井部研究室—入、大井部研究室—入、

大井部研究室—入、大井部研究室—入、

大井部研究室—入、大井部研究室—入、

大井部研究室—入、大井部研究室—入、

大井部研究室—入、大井部研究室—入、

大井部研究室—入、大井部研究室—入、

大井部研究室—入、大井部研究室—入、

— 月

29

リ屋に接 さいて 寺に かりて。止へ 所迄 可なり
金土 本人へ 先達 任じたり 才の 建つ 土地 要人 又へ
借人 心より 活の 羊儀 じれ あり 候へ

— 月

30 (四) 雨

朝十時 寺より 其へ 去る 途に 雨多 故 暫く 止
致公 園に 到り 下車 雨止 故 此に 止り 待て 方 集地 あり
淋 雨 多 故 雨 止 候 迄 雨 止 候 迄 雨 止 候 迄
ヲ 探せり 見 あり 中 止 候 迄 雨 止 候 迄 雨 止 候 迄
己 福 地下 至り 迄 止 候 迄 雨 止 候 迄 雨 止 候 迄
ニ 二 三 割 場 あり 候 雨 止 候 迄 雨 止 候 迄 雨 止 候 迄
ヲ 位 迄 止 候 迄 雨 止 候 迄 雨 止 候 迄 雨 止 候 迄
候 雨 止 候 迄 雨 止 候 迄 雨 止 候 迄 雨 止 候 迄

11

14

19

動向 - 付而之字中込にり、之に及ぶ其の事
数日及び、方命合にり、之に及ぶ其の事
電話に、有るに、而令に、之に及ぶ其の事
今に、田舎に、之に及ぶ其の事
之に及ぶ其の事

凡子田之入狀皆也，凡而能笑知
7. 凡士，凡通也。故凡。

11

۱۹

20 (10) $\frac{24}{11}$

右の表に示す通り、正一門の銀座方面へ大坂から
 吸着時計法で吸着させる時計で変更した
 金に既述のパートを引いた純粋処理と又久に振
 り、数日間、日毎の銀とトス 外 東横のパート
 屋敷、至り金屋以外その他に

— 14

21 (17) $\frac{21}{17}$

朝十時才出室、芝の根を以て観行一行十棚株
建築師・内倉に才支拂ハ、才十四才才。又一部
芝の十四才=10才の坪棚、才已費才、芝支拂才才才
芝の才才才才才=一部已費、才才才才才才、
才才才才才

州橋建築師一以板夾，通以鋼梁，又久面。
以板一夾，土工事，以鋼梁，柱木金一，其也。
以久處，其也。

久留向東一安井第二段上合尺：橫桿ノ短尺、
又朝日記右面合希望、上ノ短尺、日丸事ニ付
遠慮ナク相談也此科而迄一ノ

午收二時許，吹東朝地若武田正吹來未訪；
全中心比之，地事取板方示，以心小力取
心以希望之進心，J.J.de S.令其前進，以同令，
地或今年，會議。古節，地之以此。古節，分合
章之調查諸次日之調查，表之。此等情什事：
研究可在全是記等之以此以此。何也？而，近
改之以此一打，口在研台及里曼班河村英一處
本打機乳人，平本設計向張一電說以上述，旨
行與之讀解之以此一打

收錄本村二處——以著增刊及諸君(一)

二 1)

21

部、増補=付打合、調査依頼
り方思可ぬん

二 月

22 (大) 晴

午前十一時文庫去可

午後一初め、校正した

手紙、認り又就緒した

北本堂土工事着工、以て左の二日間可成り

午後四時半退可

五時半、坂中接、可成り社会生活協会、去時

鈴木文治君、来り談、午後八時半、帰宅

二 月

23 (水) 晴

今朝、東朝、研究可及全、記事あり

午前大等、吹棚橋大工事来、定、二、三、カ、又、端、子、土

了、可

午前十一時文庫去可

午後一時退可、今朝着工、井戸、久留、向、左、支、

流、北、場、議、一

安可、美、二、三、令、見、経、過、了、可

午鑑、内、見、所、に、付、管、理、手、帳、の、進、行、に、関、し、

全、蔵、書、買、入、手、帳、に、付、場、議、了、大、内、史、書、の、取、扱、

文、部、省、に、関、し、二、三、令、見、経、過、了、可

之、間、に、井、戸、右、左、の、進、行、に、関、し、

全、進、行、場、合、に、関、し、場、議、了、可

、進、行、事、業、の、可、成、り、進、行、に、関、し、

分、担、に、付、場、議、了、可

午後五時、吹散、令、帰宅

不在、中、間、に、二、三、令、見、経、過、了、可

進、行、事、業、の、可、成、り、進、行、に、関、し、

24 (本) 書

十時迄大室 大町

森一史と会談 土改運動全貌, 21 土地改革とは

話に 念

[illegible]

25. (10) $\frac{2\pi}{11}$

午前十時過ぎ、又ハ読書ニ就一行ナキ至リ同

११ अ. ७८ १८०१ अ. ७८

[illegible][illegible]

460—新次校夏

夕方遜可

京都官報社在 - 電話: 410 1231 上 = 付 寄 地
71 211 131 ~ 141 9 121 3 21 141 131 141

26 (土) 晴

又、松戸、山村喬丸ト外レ令テ荒リナ一寺向ナル、
ソ一列森ハ、久留向ニモリ松戸亀島丸、昭々方針ニサテニ
合ニ山村喬丸ノ近口中ノ様況ヲ察ス可ハトシ、
山村丸一列ノ過リ方ニ於テ討テシメ又同丸同隊ナル
ニカ受テテ置、

设计问：折回率=即由表+一等近、米町、
取和十四个向工量调查室、子十一说明の整体
所八十百之表；折回率-含候等防の道、了可十而
有能の、人-只数研究会の調査依頼、使交、金
額人主之、与、高の人数=調査の依頼心？い全、
方第に、了可十是問、年の设计问の生計費
指数調査、方法の報告する、如何ト述す、子以
一等近の折回率

毒人、久留向=右一上世、后以响、今議一報、
是及改、改中+2+比事、字仿：付相旋了

以四時，吹退而，大内夫人諫曰。大内君半福
 田畝 = 利 + 一 ~ 以待遇改言，吹收 = 少。又我人
 見無遠慮 = 付解解之求，幸仁君 = 利 + 田 + 福，
 二時曰君之田，已福之曰辰，以收之，以分決，曰君
 今曰田改之

27 (口) $\frac{24}{17}$

$$E_{\text{前}} = E_{\text{后}} + \frac{1}{2}mv^2$$

同令辰 歆族 稱吉也

此日在氣動之期

= 14

28 (17) $\frac{17}{17}$

予前々時逆書意、又予本稿例、伊東義統一云
 義統二兄、改文、時節脈の改め能く、外文、格也、
 二予及予士令讀、二八令、書節、令指割合分數
 十、二か讀ハハフム、伊東義統男表、夏世使ヤ令、
 読書又リ、二時逆書意

リ一列前へ至ル、又留向表ト仕事ト一時は二
合、又退所

以板壳-板壳: 在板壳地代 李5=月01月17

三 14

1 (次) ^時 / 月

$$\frac{1}{2} \times 10 + 0.5 \times 10 = 7.5$$

以板木村二史一全、調査時の予備に7月10日既記
2冊に比資料可交、以板史の研セリ、一ハ一ハ 免、勿望抄
聖入代々々々々々々々々

以莊、龜島、內板、木村、諸君等々年次
政決之。此爲了也。其時、曲方、乞に於

午以 玩田保之助君木所，美口米，決定其行程了

[illegible]

丁巳、丑、酉、卯

杜荷李改决死云。叙以吊冤冤。且吊世。
高岸深一远心。旧友叛。小民改。性为寂寞。
一。念十中印了。

今朝正しく又留向君一食為り贈るべし
中一本、持参すべし

三 14

$$2 \times 10^{-17}$$

午前十時通書室、矢張り銀座伊東屋（一）の標榜立、
状を、十時通書室、矢張り銀座伊東屋（二）の標榜立、
校室の如く

東北平大，諸君又十叶云此表十叶一，列列了
總一表也

午收五等区，区可四区

1) 新地类整理

三 月

3 (本) 量、方面

朝正門伸去，右所，收海表一什款（1206）
中島表裏一二ナリ一箱（以＝若人相田奉＝片丈幅上，二）
＞口部ハ，正一所，Zyherite 管印＞以板夾一什
款，正一草山指子ヤ一，初節句祝，子ノ持先ニ
ナク水一様迄

午以二時過所，山勢更峻即東行，大為壯觀，所處之處，今以改，北山之行，經濟亦市，向與此山接，山勢更峻，是所望之也，今之意見一致，王時過所，山勢更峻。

1) 親類、知人

然其良の電記の 署名を以て、今月十五日
トハル 古己の生月中旬トハルニトナリ

4 (全) 皆

朝九時半去室、先ノ半達、江戸川アール西端ニ安部
磯崎先生ノ所ニ至リ氏ニ此ノ筆漢藝藝更傷、尺部ノ
述ニ詳テ、十一時過去リ

仰東室ノ御ヲ木ノ根際立、ノ根ニ室内ヲ控ル

新人ノ論、下巻ノ巻、始

松田氏ニ印吏ノ電話ニ、根ヲ、此ノ午後四時迄

銀座先生堂ニ至リ、日暮又華山氏ノ會合、改メ行ハテ

27ノハリ秋葉ニサリ、此ノ平木向氏、希望ノ事、松田

氏新任待遇ノハルハ秋ノ以、草地花畑

至リ忍見、カニ秋談叙、新九等語、此ノ

5 (土) 量

午前十時去リ

山村喬史ノ一時間 全休、以一時間、此ノ史ノJ.J.d

S. 1 glachit ノ巻ニ費

午後二時半、吹上野舞女ニ先立、山崎氏ノ訪、此ノ以
来ノハハ、松田ノ山崎氏ノ舞臺、新部長ニM.史ノ地、可ハル

ヲ要シ、史ノ中ニ居、一リトナリ、未圓故、後ノ早令

来、此ノ河原氏ノ来、十五時、此ノハリ、此ノ後、此ノ

會、此ノ、此ノ、此ノ、此ノ、此ノ、此ノ、此ノ、此ノ

此ノ、此ノ、此ノ、此ノ、此ノ、此ノ、此ノ、此ノ

11)

6. (10) $\frac{2+}{11}$

此字宴會，行：曰行，故曰行，可地也，行，能之也。

午の一時近、お・た・正・然る大坂・1048
 一、同・上・之・先・の・時・痛・中・村・空・一・至・り・宣・告・
 所・、
 幸・王・意・中・の・蘆・花・公・同・一・至・り・先・の・蘆・花・
 恒・書・屋・、
 又・り・刻・月・末・可・同・ハ・内・の・道・遠・故・人・
 引・思・フ・、
 再・心・停・車・方・一・至・り・主・王・帝・都・重・致・二・
 迄・不・願・一・之・三・時・因・ハ・、
 天・久・快・晴・温・暖・和・
 柴・孔・書・の・和・政・ハ・ハ・近・来・快・也・

三 月

7. (19) 兩

朝能長長 守都宮 - 四三

午丙 + 時 乙丑 是ハ卦 陽三木 陰二土 (世 卯) 伏 者
ヲ 覆 土メ + 二 時 辰ノ 乙 酉

人の叔父に蔵書款、巻記、封入

141-1, 翻印本校正

[illegible]

同治十一年正月

細菜、中島夫人、托心大内夫人、徳川心

三 月

8 (大) 曇

午前一時退校

以心結 + 整理 - 記事

校二

久留間君の在 - 掃余政 - 即夫 - 校母共の退校
既久平比の願望 舞子四の増呈 監正

午後四時退校、古内夫人の訪 + 本時向親交大内史
健康の進歩 - 花の咲き + 研考 四五

本日の開会 - 決断の可、Jyhmurle の改正 + 17
11時30分、又印鑑の明、反響の電話設置(可)
致書同、11時

本日の校母夫人米光兄御、11時

三 月

9 (水) 曇

午前 車検 + 11 - 12 注文、名刺の交配 + 一時退校

整理 - 記事

午後二時中、校上野舞女 - 丸牛所、又以、而轉
報告の別 - 舞子 + 11、夕方相携 - 12 福 - 至、会食
午後 四時

本日の校母氏長男死去、本日の校母の身、本日
吊喪監正

三 月

10. (木) 雪 量

午前十一時迄、雪止

整理

校正

午後五時迄、雪止

午後五時上、雪止、改改内容、旨、
知事

三 月

11. (金) 雪 量

午前九時迄、雪止、午後一時迄、雪止、
午後一時上、雪止、午後一時上、雪止、
午後一時上、雪止、午後一時上、雪止、
午後一時上、雪止、午後一時上、雪止、

整理

校正

午後四時迄、雪止、午後四時上、雪止、
午後四時上、雪止、午後四時上、雪止、
午後四時上、雪止、午後四時上、雪止、
午後四時上、雪止、午後四時上、雪止、

三 19

12. (±) 量

$$\frac{1}{2} \overline{15} + \frac{1}{2} \overline{15} = \overline{15}$$

鈴木江島一郎の即興的な音の遊び、紙のとき

右心室 右房 右室 右房 2-11, 正常 +1

十時——十一時 山井丸上校受令退

午以二時過上即海女=在東西, 山^上方=新方
史地跡才馬路史~即跡才依先的單張

去所已之 故本史一之 史以合读也

全片以四等風所 乘土位一至四，
山勢更一說又曰史性體 但此四等則已却行惠
而一乃動軍平一二行至是 史狀又一二四

今般王時の言口に於て新令及總令一方端の
 正誤を、上野史の、電報、吾一山夢史林謠
 163 (17-18)

三 月

13. (10) 2. 4)

于前十一时遇新 n 地堆史木时 讨论, 以言其

十一等中女十一同伴之氣 車→東亞歐待合室、
至二階+1) 的東、開上(一)大大妻出合+1) 地

増一ノ鉛化竹量 = 250 匁合ノ世ニテ欲シ

半次 = 時正, 来事取 = 7 分钟, 文 = 11.12.13

全、附、新、定、至、工、事、機、械、費、

五、東中野：上野通轉左9方、北口、山崎

注：記事の再読 尚年々4才 - 7才に及ぶ、上

中島提督、出陣、金、意見(文章(10)、11、12、13)

12. (1) $7 \times 10^{-10} + 10^{-10}$, 核子数 $2n$

[illegible]
$$f(x) = \frac{1}{x^2} = x^{-2} \Rightarrow f'(x) = -2x^{-3} = -\frac{2}{x^3}$$

三 月

14 (月) 晴

二午近リ去所 リ方 町 惣 惣 惣 惣 大 方 白 付
午 頃 長 川 割 大 倉 本 町 子 學 校 什 場 今 日 張 付
種 心 中 子 午 時 向 金 一 町 金 付
玉 電 道 大 倉 本 町 子 學 校 上 京 米 町
リ 方 近 町
板 路 器 一 計 得 中 長 (恩 院 額 一 割 壇 除) 十 二

三 月

15 (大) 晴

此 子 子 在 中 米 宅 小 町 八 穂 丈 人 (設 在 行 義 丈 人 母)
今 朝 米 宅 中 長 女 宅 在 延 和 中 丈 人 宅 裏 東 京 町
卒 館 入 卒 一 件 三 日 掛 開 付 一 日 一 日 今 日 在 札
町 卒 館 心 中 今 日 付 一 日 一 日 二
午 頃 十 一 時 中 長 去 所
板 路
惣 惣
リ 方 近 町 内
リ 玉 電 道 中 島 本 町 十 一 段 付 一 日 一 日 三

三 日

18 (金) 時

$$\frac{4}{7} \frac{1}{5} + \frac{1}{5} \frac{1}{7} = \frac{1}{7} + \frac{1}{5}$$

7216

今以 π 爲 π 之可， $\pi \pm \frac{1}{2}$ 之至り又の散策，
山等元次郎史の「高城板板」の、 $\pi \pm \frac{1}{2}$ の散策、又曰く
全級散策会、正如何の時、今に河津表の $a \cdot N = k$
を得。時散策会。

既經修改後，一寸七分之合與此乃合中，
投擊之村頭也

以三等吹奏，門曉翠中江平。如旧友合
二子端，江寄史新書到日來，北木元志賢。野心
壯村一讀報，三良合合(別)可欽笑九等近，敬金
田也地也者上-的(田也

三 四

19. (土) 晴

都住板子夏夫米克，陸軍省の末國留年二分は
 一飯の先の一畑地に知人、紹介され、
 秋田の町吏、正一、の河川沿いの高人は及市に
 相會、希望の半壁（丁）、後一再計の取上げ
 後、海吏の令に之れ

午可十時至三時止

十一時過一十二時山村農人今晝校正

二月，吹上野新出二虎来可，明：级便令为国
大曜，何议令，为差：付相谈可，二虎：尚所可
德木虎上令令可

今、午、以、一、步、中、退、而、車、乃、不、以、之、竹、竿、可、自、
定、此、以、故、已、定、而、改、其、別、式、之、別、式、與、評、台、
之、此、評、台、之、主、序、之、規、則、書、上、之、楚、(是、之、評、台、)

心部、氣吐の珍貴之

二、四

2 (12) $\frac{14}{17}$

八印、知主 ぬいハルハハハ

午以 能去積一丸 藥以甲二丸，付乙半量。能去積一止

綠珠, 紅語

今朝主、π-正線讀、21相讀 大伴同義ナリ

本日、飯後會、上野丸河溪、是為蓮、飯則 幸甚

1. 東情: 留之久久, 感其

三 四

21 (N) 階

午禪十時奉 表・TV・正・盤谷史文表・1242 日付書定申
去禪寺・至・世・上・正・國・忠・諸事執行(17) 十・等・

半等句計, = 積經法: 薑 = 三箇 (根)

東：東、7 銀牛 = 31 子 = 永瑞上 → 金金、銀、子、...

为你 分法 全、独、来横 祝天寺停，快游虎丘。

上心 改年士日野照秀忠院一在 先方 事情 未了

1. 事情上，能合，收獲感之助在內：在「天」之內

10月11日 星期一 晴 11月11日 星期一 晴

第一寸水可以止人。五气云云。一按为。四。

三 月

22 (七) 丙

朝 阿上史部史官 - 電記 夫人 - 朝面令, 希望 > 付
- 才 費 >

正午正, 其可

我建華，認天下付我。明日棟上三亭，記。

[illegible]

有，七年所議會之大力心與之心經濟
系部，意見重毛復勢大船一起行以待休
成以心一決之以心一先心最善，然以此

盤谷大橋(二) 11月21日 海濱子 10時 45分 至 11時 15分
一、飯打，以右明子(即第一回)被罰，上門地(11) 橋
二、上車 走

三 月

23 (水) 酉

朝十時入室、先テ読書ニ就ル銀行一室ヲ付三階四階ニ在リ。
又一部、特設カ列ニ分付ケル在リ。且正・支那更改ノ世。列ニ
分、特設カ列ニ在リ。

1-2) 九内東平令鎖一呈り 時之代所盟、評議是令
之節、二ヶ延時、午以一時近、東西

久已向在明口方瓷田以一故事，其地乃一里，途中
大改行路，由是令人心驚，去後物土一付於台也方
氏之信。

·以 查点 - 4 = 200 吨 - 100 吨 大工 - 干 内 柳 更 地

ケニ 希書整理

山并寬次郎君一匹狀。其妻ハ通商社令、母心ハ
何ニ付カ、憂ヒシハ、夫ハ所ヲモツト思、而テ其ノ如
ク事ヲ為ス。上野ニ在リ、相談、憂ヒテ之ヲ以テ却望、
而テ其ノ如ク

午、以四時正、舞之、二部二丸木所、舞之、史の
此、川、河、溪、谷、合、經、道、の、方、声、明、書、文、筆、の、陳、台、
二、學、之、福、之、り、合、合、歌、説、ハ、中、中、歌、説、二、丸、一
万、事、山、号、河、中、二、丸、珠、山、号、丸、相、説、受、見、の、叩、
舞、之、且、二、丸、一、會、研、究、考、究、主、部、中、心、の、
リ、之、之、却、却、望、に、対、

三

۱۹

24. (木) 量

此ノ井上仁ニ在る家傳授ノ良傳ニ付テハ心ヲ
十等書立 又ノ家傳ノ外科傳授ノ至リハ心ヲ病状ノ見
解ニ、ソノ科ノ本柄、毫毛言解ヲ受テ至リ仙伝ニ、此
外ノ科ノ福因ノ平坐ニ、此物トナリ、並ニ科ノ十四指ヲ
贈ニ 前者ハ直ニ聖道ニ付テハ完ニ得テシテ、
東洋風ニ至リ特ニ急ノ要ニ、此下是ヲ可

讀書題詞

卡以四時中記所，疾痛一至，有口建前，此以
狀以凡子田室

1. 歡迎參觀

三

۲۷

25 (金) $\frac{2}{5}$

 $\frac{L}{T} \frac{1}{\omega} + 1$ 等之所

以板木材=表一仕事上の日本人の生活文化の調査及
書地之経日録作成の経緯

兩江丰豐史一電報の譯名内陸、兄弟、走心、
又、收放史一井上史一史一兄弟高品秀、運付、依集、又
一收放史一河上史一左即史一兄弟史一史一依、可、要、方、
史、史、

开山仙人——仙翁——万物之主，言万物之主，与天共
 开山仙人——二十九年——仙翁，与天共

學四清五法史一病文足利，電報，裝又

辛島、管仲、清水、高田、諸君一齊地史見所、私
扶、書了

午陽正時見，大內大人，約同大內右近將士十餘人，
 引兵入學士院。

三 同

26. (±) $\frac{12}{10}$

[illegible]

三 月

27 (10) 卷. 五

朝土の屋敷の倉庫の古物の宝の庫の中へ取
り出し、土改野郎、車中へは、古物＝宝、今（現在）＝
歌、宝島→下車

今日 6.40 下(宣)署 門口, 經,

.. 8.20 博子香

一印文通，申以紅印旅報-按2，主四-華子前，200~

一、上、明、平、是、寸、出、节、工、十、打、台、又、最、氏、在、费、累、
 费、心、在、合、意、心、心、又、甘、山、师、上、可、双、十、到、日、以、以、
 十、等、寸、吹、群、等、心、去、心、微、立、心、心、平、留、心、十、切、切、切、

波多野史一電話(明)振鈴、其(其)其(其)其、
兒子22222

京田清無故、奥化寺、報、東寺、の、應知、心、机、の、明、朝、
第 二 卷 二

右の二通りで、永眠・以後は今、少し偶装、
奇縁と云ふこと

義勇一中入學、電報東京文一社、以電、電話、印刷
板刊

三月

28 (17) 晴

朝九時、吹一部札、~~十四~~^十等申の古書、又ハ
札、下指一至リ至部、按付ニ、ソレヨリ大卒内、新成
室ニ至リ端田巻主并長田村一小級按及他一般
校ニ按付ス。奥田級校ハ古歌中ニハ同令之来ス。

十一時卒業會場、以運動場内大幕張リ、式場へ入ル
十一時半過ル、休田農林部長ニ挨拶ス、河村又介
氏ニ挨拶ス、會、松岡均氏夫人の儀ニカサレ
退入男、仁工部由大空科卒業トニナリ

一部は台紙、土筆の年輪→墨線計=表の筋一目に

午以一時許，吹一節批中→書前，河村又介在，
竟→付，夫妻共：在公 第→前→唱；
吹→吸，也散在→付（而令，一節→寄，依批快讀
如，第→前→唱；

下列五種之 $n-1 = \frac{n}{2}$ 範疇， n 十分大之 n 。

[illegible][illegible]

三 月

29. (水) 晴

朝十時退一歩半、紅印、~~土物~~橋、車→古高心。
十一時前、先王全三ノート至り色ハ土産物、買廻
時向アリ故ハス。ツ西公屋=行ナク散歩ニ由ル
ハス。王全前=下車、王全内安達真金→紀元最良
食堂ハ食事。車ハ一時停車場至ル、宿、市販の味
(土物男トナリ)アリ荷物、食瓦、大鉄(今ハ若飯以)
ニ集ル。

午收一時十分完車

二等四十五台送读字歌 $\frac{3}{10}$

开山民界(此山民界)及前在民界土地以人件
去迎人

白重車 $\Rightarrow$ 土 $\sim$ 下 梁 井 出 = 碧 色 の 土 車 (次)

久に松り・姉上の面会、此男を事とてサハ人々！

子世 = 二 順天、今、鏡、開山正統史(中)依以

・ 土記の「節上」は切誤、決之「ノ」を分つ、節=東牟田、仙北
言節言、此以「河」行、由「ノ」獲産任気特産、2ノ
任心 實=一部「上」字=節上

夕倉と張ヤ：所マレ川張セハ十一時、夜ナ
近青木 富吉印吏水方ナ

三 月

30 (水) 時

朝会以盛设，开山之阳，开山塞古即古氏，墓。

路+加-宣后, 係2 前在^一此^一後^一回^一又^一生^一
 加^一午^一以^一時^一近^一前^一在^一此^一後^一回^一又^一生^一
 一^一時^一四^一十^一五^一分^一, 吹^一笛^一上^一決^一別^一心, 本^一青^一木^一在^一後^一打^一
 車^一之^一方^一張^一處^一中^一王^一島^一, 飲^一金^一瓶^一等^一: 後^一打^一, 又^一區^一
 外^一此^一男^一正^一意^一才^一在^一并^一又^一男^一在^一永^一決^一別^一心

讀書題，方外。2.00

明子塔子坑 4.00 元

有收、平階、一節、前、号、歌、の、別、の、一節、の、事、
 都立、上、分、回、二、境、二、の、休、暇、の、得、る、七、月、上、旬、
 赴、の、暇、の、得、る、是、の、年、任、年、四、月、上、旬、祝、の、一、
の、日、一、番、二、連、休、暇、の、下、の、日、一、番、二、山、陽、の、下、
川、号、立、一、番、の、七、時、分、近、り、り

歌前(兒童)輕(兒童)歌前(兒童)歌前(兒童)
十一時=正午

三 四

31 (水) 青

朝辰、土の倉、土の倉、土の倉、土の倉、土の倉

9.25 下(空)管总长度=3米

午 4.14 震動顯著

其4. 歌前的人力車, 凡。 凡。 何知所。 言即。 一
 既。 主。 主。 人。 而。 令。 重。 可。 款。 規。 章。 呈。 心。 可
 有。 川。 而。 所。 言。 即。 母。 章。 病。 述。 又。 新。 品。 呈。 心
 注。 又。 所。 心。 二。 而。 令。 方。 時。 厚。 言。 依。 丈。 表。 訪。 心。 凡
 明。 風。 主。 依。 丈。 表。 又。 述。 又。 心

6.26 星期一

6.40 図4. 着下巾 ケー市巾、散糸

7.5-2. 已知 $\phi = \frac{1}{\sqrt{2}} \begin{pmatrix} 1 & i \\ 0 & 1 \end{pmatrix}$

10.17 神戶歌子

下市、飯前、外灘、龍鼓、投、一、回、又、波、の、
自、己、の、体、に、損、り、し、

1 (金) 晴

朝七時半宿ノ柳ノ所ニテ、溪川神社内ノ寺ニ
午前 8.15 不之田急行ニ乗込

午後 7.35 東急電着、会事ノ所ニテ

大分疲レ、此ニ一泊下ル心地ス

今朝入道ノ秋又ハニ乗込ルニ高橋ニ
地味ニテ、地味ニテ、連行ノ一泊ノ地ニテ、
又ハ、事、至リ

2 (土) 晴

朝八時半田島下木室、通リ木田田ニ改乗、山、
社ニテ、一足上ル田島、此ニ、外ニ、此ニ、
十ニ、山、此ニ、一足上ル田島、此ニ、
仙、此ニ、一足上ル田島、此ニ、
十ニ、山、此ニ、一足上ル田島、此ニ、

午前十一時半、此ノ山ノ田島、此ニ、
此ニ、一足上ル田島、此ニ、
此ニ、一足上ル田島、此ニ、
此ニ、一足上ル田島、此ニ、
此ニ、一足上ル田島、此ニ、

夕、此ニ、一足上ル田島、此ニ、
此ニ、一足上ル田島、此ニ、
此ニ、一足上ル田島、此ニ、
此ニ、一足上ル田島、此ニ、
此ニ、一足上ル田島、此ニ、

3 (日) 曇

朝九時半、吹上野道轉丸木宅、四月一日付の辛卯辰、
所収委員名録の如故辭書丸木宅に於て、草紙の一枚を
得、十時半の丸木宅に、日里已大學有叶の十日馬場に
至。高橋に晤、丸木宅に訪、石井に、吉田の叔父に
晤、上野史に訪、東横の船客に、平井に
訪、丸木宅に、丸木宅に、丸木宅に

飯後、飯三味、丸木宅に

午の三時、吹高橋丸木宅に、丸木宅に、丸木宅に
訪、丸木宅に、丸木宅に、丸木宅に、丸木宅に、丸木宅に

夕六時半、船客に丸木宅に、今日、丸木宅に、丸木宅に
丸木宅に、丸木宅に、丸木宅に、丸木宅に、丸木宅に、丸木宅に

一、丸木宅に、丸木宅に、丸木宅に、丸木宅に、丸木宅に、丸木宅に
丸木宅に、丸木宅に、丸木宅に、丸木宅に、丸木宅に、丸木宅に

4 (日) 晴

朝、早、丸木宅に、丸木宅に、丸木宅に、丸木宅に、丸木宅に、丸木宅に

10.20 東、丸木宅に

午の七時、丸木宅に

丸木宅に、丸木宅に、丸木宅に、丸木宅に、丸木宅に、丸木宅に
No. 526 丸木宅に、丸木宅に、丸木宅に、丸木宅に、丸木宅に、丸木宅に

175

月

5 (大) 号

朝土儿，肌型绝佳 樱花诗号，晕次下

合意之屋事之濟也

午前大時寸、吹雪。日有飯汁、茶、合、總、合、合

增北 北白川 農桑部前 日本經濟研究所 三三

第二口, 報表令 = 去幣

午以宣會以一時市的司加午以令世張

27/11 4221 10 24

午收五等秋)

所藏四部书皆宋本，以板本一册，即

二、送史、日車 送款今增一仙(學問)至此。

司令部四山公園内、適逢春色、變工。

七等司令要寸心 = 心内見束、後打 = 結果

李、張、歐、陸、趙、等會議之時間、地點、

21-22. 统计方法(常規)希望(1)。

大時退散令 車の令中、ちのたにり敬等再ヒ

申、7 22 病

11

14

6 (1) 12 时

朝正之會，乃入侯達吉先也及金壇，令曰：笑。

全收抄心支排，活心車心主都取

7月 8.41 特送乘車

7.12 7.40 東平西

計部(主) 7 月 1 日 17 時(四時)

如下，可求之宗地，在计算待遇时，应分
案计算。

一節 既知 -2 月四十四, 新字 井田 = 生之, 而
通知 (1)

7 (木) 景

朝大内夫人来宅、熊手丸一、別身大内屋迄、即
覺時差、11時、午、12時、即令スガシ

午前十一時、名堂、先、熊手丸迄、所、行、一、即、御
二、即、令、スガシ、十二時、過、名所

久留間丸上、法、心、不在、中、別、一、墨、長、十、紙、リ

ナニ、一、初、次、ナ、時、校、定

午、以、二、時、中、退、可、大内夫人、沐、口、向、ナリ、大内
令、足、来、リ、奥、山、午、護、士、リ、大内丸、登、下、リ、儀
玩、リ、リ、リ、リ、切、漢、ナリ、全、一、ナリ、以、有、15、船、廿
二、丸、上、堂、御、令、足、リ、以、ナリ、方、ナリ、一、心
正、ナリ、五、時、中、靜、名、田、名

櫻井、足、丸、一、名、丸、一、次、落、リ、身、丸、リ、已、開、如、此
但、有、支、丸、人、一、如、今、方、依、来、ナリ

8 (金) 晴

朝、入、時、中、名堂、先、入、至、橋、電車、至、リ、リ、村、飯、屋、一、名、丸、一、
莫、歸、一、名、丸、一、即、一、名、丸、一、方、リ、買、木、ナ、名、丸、一、即、一、名、丸、一、
然、而、以、大、事、一、名、丸、一、十、分、リ、名、丸、一、以、一、四、五、二、名、丸、一、
行、支、法、一、至、リ、每、リ、名、丸、一、以、一、名、丸、一、以、一、名、丸、一、
リ、名、丸、一、十一時、名、所

校、定、一、名、丸、一

久留間丸上、法、心、不在、中、別、一、墨、長、十、紙、リ
一、出、之、一、名、丸、一、以、一、名、丸、一、以、一、名、丸、一、以、一、名、丸、一、
電、法、定、法、中、心、一、件、ナリ、名、丸、一、以、一、名、丸、一、

午、以、二、時、過、退、所、即、定

リ、校、定

11 (月) 雨

朝十一時、吹雪、大雪、可也、東平取、至、後、
行、義、夫、(吹、東、リ、火、区)、至、后、以、方、可
久、而、向、夫、電、島、吏、二、上、付、張、子
夕、才、思、可、以、也
不在中、守、野、一、大、最、男、一、即、夫、早、福、回、高、士、年、境、
入、年、付、任、証、人、(依、此、中、内、如、半、從、明、付、文、管、

12 (大) 晴

午前十時、車、過、名、可
森、人、久、而、向、=、夫、共、令、後、和、人、報、長、場、(義、) 十、
二、時、過、此、也、森、人、久、而、向、今、朝、米、宗
新、方、上、野、=、夫、米、付、有、大、年、の、地、定、式、の、上、四、通、
接、打、米、(八、十)、人、久、而、向、(七、時、近)、群、去、也、
午、以、四、時、過、可、森、人、久、而、向、二、上、一、部、及、認、令、才、
所、(七、時、近)、(七、時、近)、(七、時、近)、(七、時、近)、
森、人、久、而、向、持、元、十、リ、七、時、付、代、=、夫、極、是、上、付、付、受、去、
大、有、你、函、了、被、後、要、造、大、一、主、心、世、大、年、寄、贈、了、
此、也
至、此、部、至、此、上、四、段、接、打、事、件、(七、時、近)、
志、望、未、明、人、大、是、也、森、人、久、而、向、才、

15 (金) 晴

午前十時半より

検査

夕方退可内

車の修理、雨、畑、稲、内、金、4月、後、

不在中、お母さん、来訪

16 (土) 晴

午前十時半より

十時 - 十一時、山、村、農、上、今、後、検査

山村、農、の、電、島、農、の、後、才、車、外、運、こ、れ、に、

所、一、時、意、味、有、り、は、れ、の、り、り、は、り、畑、作、上、来、週、迄、

事、二、つ、二、大、時、三、時、意、味、有、り、是、一、つ、

上、紀、局、の、久、田、向、農、一、つ、り、の、農、の、収、穫、・、貯、蔵、

本、時、に、農、一、つ、一、仕事、命、命、う、才、才、才、才、才、才、

午、後、電、車、以、南、に、上、り、所、一、時、の、水、の、今、後、

・、同、一、つ、一、設計、系、社、總、令、・、大、時、後、事、・、お、母、

・、の、山、田、向、大、報、後、市、横、山、農、の、後、才、才、四、時、

後、の、畑、作、電、車、農、場、一、つ、一、つ、の、農、木、・、田、宅、

才、才、三、つ、開、瓦、一、つ、土、砂、付、り、上、り、台、中、り、才、才、

才、才、一、つ、

17 (日) 晴

朝にうい高橋に能吏、兄弟子う大亭馬場+に
夫人気一にう

にう近うま+止+ヤ+トヤ+一回+う美+計+編
にう金屋+の+茂+茂、元+に、以+在+大+事+供+良
に張+在+電+通+の+草+、要+材+う+費+に+う、
の+に+電+台+所+、据+の+ヤ+壁、色+ト+う+棚+橋+建
造+即+に+相+決+地+之、地+本+室+の+据+垣+根+ト+、費+用
足+積+に+位+文+、久+留+向+吏+に+再+決+に+東+に、
且+時+通+田+金+、地+に+以+在+吏+、分+決+田+之

18 (日) 晴

午前+時+去+所

午前+時+去+所 一般+状態、部+う+読+に、之+久+留+向+吏+
相+談+に、短+計+金+積+に+報+告+に+に+に+、早+付+に+に+に+に+

9.11.10 1819分 = 付+人+の+取+手+、又+大+に+に+
去+に+部+人

以+据+、本+村+に+吏+う+据+、本+部+人+、現在+久+留+向+
、部+吏+、部+吏+に+付+紳+達、材+料+う+集+に

午前+四+時、地+和+田+佐+一+部+吏+本+に+方、仙+台+、経+過
、付+手+、今+に+部+吏+地、状+況+う+終+に

午前+五+時+通+、口+吏+に+付+連+一+退+所、代+人+本+部+に
分+決+、田+に

所+及+吏+、短+計+金+に+及+に、早+付+に+に+に+
号+吏+一+部+吏+佐+吏+の+付+に

21 (木) 晴

午前+晴+西

旧暦神正一室の資料を整へる

久留向表一昨日の田舎、晴、夕雲、夕日、夕月

一以板倉の旧暦一室、部分一室の神正材料一付

本村の久留向表、調査、結果、夕日、夕月、夕雲

又、板倉の旧暦一室、部分一室の神正材料一付

午後四時退席、晴、夕雲、夕日、夕月、夕雲、夕日、夕月

夕雲、夕日、夕月

夕雲

22 (金) 曇

午前+晴+西

板倉

午後四時退席、晴、夕雲、夕日、夕月、夕雲、夕日、夕月

評議員会、夕雲、夕日、夕月、夕雲、夕日、夕月

六時退席、晴、夕雲、夕日、夕月

四 月

23 (土) 曇・雨

午前一時～五時

一時～一時半 山村史と会談

会談後久留間史と。山村史・亀島史・希望の書一ヶ月

327 解散 12-1231 57

午後五時～五時半

午後二時～三時 可成夜、工事、欠棚指欠と記す

1-11 田舎

夕方に散歩 新橋太田庵の「巻」人、決定

四 月

24 (日) 晴

午前一時～五時 本郷・上野・上野公園・正一園・東

横濱の「夢」(近国地・近国・可成夜) 散歩 十時～

近国地・入ル、東横の「夢」(近国地・近国・可成夜)

全「夢」の「夢」、上山の「夢」(近国地・近国・可成夜)

「夢」の「夢」(近国地・近国・可成夜)

26 (火) 晴

昨日雨降 雑作散欠 又書世に思ふ

数日、在任に於て 十卒校訓 導沈并に地老及仁能一中
校取 十卒高明處一接内状、有る

27 (水) 曇

午前十時中 去所

昨日 蔵書整理

午後四時中 退所、大内夫人の御不在、田三

大内夫人、米分、大内夫人、近状、他寄、十、十、十

十、十、十

本日 聖回書状、永田史米可、父留向表、文、字、物
引受り、第14、一切、在、才、の、村、の、世、印、税、上、中、去、字、漢
和、第、二、收、去、又、村、合、一、普通、印、税、の、所、に、十、十、十

父、上、信、表、中、去、父、留、向、表、及、以、板、史、一、記、又

28 (木) 晴

午前+時中+午後、一ノ橋、幸士全額、至リ又、散
髪、ハ、二ハ、今、古、今、以、快、読、二、時、散、今、
所、至リ、一時、向、全、蔵、書、の、整理、

午後三時退可

再び幸士全額、至リ、昨、幸、以、氣、今、古、今、今、今、
高、大、高、瀬、乾、七、八、八、改、末、状、勢、読、ハ、十、十、時、散、今、
以、言、

熊、七、八、一、古、天、此、古、電、安、番、の、収、入、

「ア、ハ、一、ト、及、氣、年、元、以、開、氏、一、半、月、半、部、信、以、之、
信、の、豫、定、ス、

子、在、中、所、一、巨、老、木、至、次、表、米、付、ハ、

29 (金) 晴

午前、高橋、二、時、中、八、人、来、立、大、改、及、大、改、旅、の、所、一、ハ、ハ、
高橋、表、正、状、ハ、ハ、ハ、読、信、中、時、向、計、ハ、ハ、ハ、ハ、
CP、H、二、本、Win、一、本、ハ、贈、リ、

昨日、校、受、ハ、礼、事、ス、

古、内、表、一、半、種、理、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、
ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、

30 (土) 晴

午前十時去町

十時一十二時 山村史士令読

午後二時 堀田二史史所、所、仕事、付急、之、之、

見書、文、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、

午後、上野二史史所、所、仕事、付急、之、之、

堀田史士、11時、付 confidential - 急、之、之、

午後、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、

午後、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、

1 (日) 晴

午前一時 急、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、

午後一時 急、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、

午後二時 急、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、

午後三時 急、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、

午後四時 急、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、

五

17

11

120 2. 84

答：是周二八日：呼层姓：此口宣层七
一、二及三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

五

13

11

柳: (全) 春の川に柳を 咲かせた 地を
 春の川に 咲かせた 地を 咲かせた 地を
 咲かせた 地を

五

၂၅

4

82.12.21 56 1 4 11

朝江等二ハ一箇ノ芝邊ノ中ニ

五

۱۴

iii.

기쁨과 평화

此口屋事早過十月廿二日 此晚麻卷

白 Vermuth blanco 70% 酒精 40% 糖 10% 酸 10%

ま-7-50 英訳-

仁中台画+ト、是合、好、() 高フ

午以已時過上野道轉右來堂

此の板校合へて新之巻に

財政局、人事、内務、文部、農林、商工、海軍、陸軍、省、府、廳、司、處、科、室、各機關、團體、學校、及社會、教育、文化、衛生、體育、及社會、福利、事業、等、各、項、事、務、之、管、理、及、監、督、之、權、限、及、其、他、應、行、管、理、及、監、督、之、事、務、。

その旨を報告し、又主

内肃正、付右支河議員全令、3倍

报导, 通讯 批读

二、等邊三角形

6 (金) 曇

一 即 叩手 = 決之、而 報道アリ

暖房台 土曜日の午前 電報 停じ、川底に 休養

リ、大内夫人 外出、新大内 今朝同夫人 3時迄 休養

3時 - 4時 相談アリ 意足、過一リ

7 (土) 曇

休、昨後 朝の全リ 融氷 但し、土曜日の川底に
4時 - 5時 東横から一リ + 早急 (永後) 1時 増えぬ
リ 休養、又 買物アリ

午後 2時、頃 大内夫人の、電話、掛り 上野 舞
女 = 倉米室、交談 数刻、舞女夫人、休養、撤回
又 上野夫人の 大内夫人へ 通知、お立ち、全
一 大内夫人 不規則、場合、融氷、土曜 友人、10時
為處、お立ち、何し、る、何、新 意、お立ち、先
、毎日の事 = 容易、後、お立ち、お立ち、
年内 肅清運動 = 同、お立ち、意見、お立ち、
5時中、頃 辞去アリ

五 月

8. (11) 曇

正午過ぎ 赤坂、正・1044 国道 車の中へ入る。連日
先々所へ行つて中島夫人へ入る。此の夕方、火の
炎、赤坂へ行つて工事、模様は又 相模橋を二つ
合へ 左岸の境にこの頃より方田迄

不在中 (カリヤノ三男、外外女) 等、前夜迄
来り

リ「野人の前」を讀み出す

五 月

9. (11) 曇

午前一時過ぎ

品書整理する

午後は一時過ぎ、相模橋、電話の米所、近頃、元々、中
へ入る。元々、中島夫人、手付へ入る、相模橋、この頃迄
二・三時過ぎ、此頃、方田、仕事、此頃、交換、已時中
、此頃

林太夫、栗生島古来の相模橋、大分、此頃、
所、此頃、此頃、此頃、此頃、此頃、此頃、此頃、
此頃、此頃、此頃、此頃、此頃、此頃、此頃、此頃、

午後は一時過ぎ、此頃

此頃、此頃、此頃、此頃、此頃、此頃、此頃、此頃、
此頃、此頃、此頃、此頃、此頃、此頃、此頃、此頃、

此頃、此頃、此頃、此頃、此頃、此頃、此頃、此頃、

此頃、此頃、此頃、此頃、此頃、此頃、此頃、此頃、
此頃、此頃、此頃、此頃、此頃、此頃、此頃、此頃、

五 19

10 (大) $\frac{1}{10}$

$$\frac{1}{5} + \frac{1}{5} = \frac{2}{5}$$

為惠整頓 午以五時退可回堂

可及室內校閱

大政ニ決シテ一ニテ呼吸四番到番

五 14

11 (水) $\frac{24}{14}$

午而一時也

易書於世，士分進退乎

午时五时止，照可

所及至。一校定

是所共正 + 本所共：8.7.15.12.9.建.改.1

五

17

16 (17) $\frac{2}{3}$

午前十時左右，見一中隊，定：檢閱處，不在此。

玄奘の夫人=婆伽婆の譯名、十一等過の所

初事文也，整頓人

一、以板夾板之面，即川東，以二寸半之，
又建祥費一石四，以成之。

4-12 五等区可用

有の午前二つに森久史君一電を急務一から
村先へ

大村史一返書。改めて、内容は、現在に
おいて、所、これに於ける、史議、は、
彼、の、声、を、通、り、智、力、を、示、す、中、途、に

五

17

17 (大) 雨

17 (大) 雨

$$\frac{1}{2} \overline{xy} + \overline{yz}$$

藏書整理

堀田大木所、河川史、中切、一之款、支古、主、
 堀田大木所、河川史、中切、一之款、支古、主、
 堀田大木所、河川史、中切、一之款、支古、主、

设计令译校书, 瑞王: 第二下二略上

4/5 2014

五 月

18 (九) 西

午前十時過去所

統計會議一報告起草

午頃、晴但雨、土田農十歳、白蛇捕、以寄、→教丁、
他田、虫、氣、う、つ、不在、玄、室、の、女、人、一、投、打、に、寄、
考、田、意、

7時、吹奏会、上即=教授会迄、食事、供
 けられ、談話、此の、演説会、年内、矯正問題、に
 関係、絶然、吹田、節、の、舞臺、花、玉、の、演、目、に、中、ウ
 へ、ナ、リ、ト、ナ、リ、本、日、の、教授会、の、財政、年、間、義、問題、
 の、先、方、議、り、舞、臺、花、玉、の、心、接、觸、の、結、果、は、舞、臺、
 花、玉、の、大、特、許、一、題、主、演、に、ナ、リ、ト、ナ、リ、又、本、
 日、の、本、年、の、費、費、概、算、を、總、て、ナ、リ、ト、ナ、リ、尚、不、
 足、は、八、時、中、過、り、ナ、リ、

五 月

19. (木) 丙

午刻十等星出可

板宽

午後細心查本所，未發動調查7个内四重石田一7
從人由北山三、北山何二相讀了平讀机，其人又留向=
處：相讀→此之北山過一才

午收五時起可，秋收一至五時起，堆方一摺以
午收神早收一下莊一至七八時，而瓦土須在乾
中場一、二時中過可令九時起，足十回

本日所一、大内参七九の電話の案内、相談令
了、本一、二十三日の五時中、大内参の案内、相談令
相談の早送、電話の上野九一、大内参の案内、相談令
令の案内、相談令

五 月

20. (金) 晴

午前+時々雨

+時 - 十二時迄、山村史と会談

校室

新史史未所、半圓尺、内分鏡、上野史、十、
文部、ヤウ親、〜、証し、佐佐木史、身、付
証、半、今、乙、月、辛、丑、ヤウ、力、サ、〜、コ、ト、動、カ、〜、サ、ス

午後五時迄可田室

1) 校室

子在中、早稲田、新、部、高、科、在、中、銭、義、郎、在
(中銭、漢、史、見) 主、方、に、リ、リ、サ、リ

五 月

21. (土) 曇

午前+時々雨

+時迄 - 十二時 山村史と会談

午後、森、史、〜 (久留、向、在、向、リ、サ、リ) 留、川、史、依、頼、

4、証、コ、リ、西、サ、〜、サ、証、し、

上野史、明、電、話、〜、小、嶋、史、〜、白、分、史、結、ス、中、銭、
〜、リ

如、河、所、家、主、次、川、竹、史、木、所、金、井、先、生、漢、義、第
二、外、一、冊、〜、尖、上、ス、金、井、先、生、漢、語、第、一、大、河、内、史、
証、ス、〜、サ、リ

午後二時迄迄、計、宿、半、高、分、何、サ、親、新、サ、
久、野、史、事、〜、サ、リ

22 (日) 曇

正午迄) 正・トコヤロ・同仲 出立、已給・至
金倉・ソ・の 疾疾、普請場・行・埃分付矣、至
ナリ 埃新・又 自付本・倉・此時中、吹・久留田丸
迄、至リ、同丸、病者・見新・王寺内室

23 (日) 雨・曇

午前・十時出立、至・埃新・倉・同・行・至・田郡・皆・有・知、
取取・埃新・車・埃新・ト・行・至、久留田丸・行、十一時迄
出立

埃新・丸・同・川・丸・埃新・平・赤・日・同・行・至・埃新・中・二・月
・十・時・同・行・至・埃新・ト・行・至・埃新・ト・行

久留田丸 本・同・行・至、同・行・至、埃新・森・ト・丸・相
談・ト・行・至・埃新・ト・行

埃新

本・村・丸・七・時・埃新・埃新・行・埃新・ト・行

森・丸・久留田・二・丸・相談、埃新・行・至・埃新・ト・行
エ・行・至・埃新・ト・行・至・埃新・ト・行・至・埃新・ト・行
エ・行・至・埃新・ト・行・至・埃新・ト・行・至・埃新・ト・行
エ・行・至・埃新・ト・行・至・埃新・ト・行・至・埃新・ト・行
エ・行・至・埃新・ト・行・至・埃新・ト・行・至・埃新・ト・行

午後・五時・埃新・行・至

午後・五時・埃新・行・至・埃新・ト・行・至・埃新・ト・行

五 19

24 (大) 時

十一時書所

會同我一起出，謝文：楚草

健へ + 42 以下、同22可、即然 根心 → 健

午以二時 松田幸三 印 在米所， 设计的 的 提书， 叙述
 关于 设计费 指数 调查 一 既 一 调查 一 提书 所， 以 材料
 之 中止 心 附 与 元 心 了 午， 所 的 提书 以 一 叙述 了
 依 果 心 抄， 令 候 不 取 费， 八 个 同 程 次 出 米 心 见 止
 了 元 心 心 谈 午 午 午 午 午

午以王峰近，近可，大内夫人近，大内夫，近
洞清以王峰近，南夫人二之令，王峰近，
二王峰近

今朝+晴上野苑、空中之ハサナトコササメ
行仙也、サナトコササメ正上野苑
送

可, 中島良・佐藤久「 $C_1 - C_2$ 面 + π の軌道」
図 4 参照

平均人 12-15 岁 - 平均年龄 12-15 岁

五 月

25- (WK) $\frac{25}{19}$

朝: 流石会因通通叫伊仕来 有物了云云已十日及廿一日
云云云, 通按方打合云

午分 + 時, 另 7 分

論文草稿

(電報-7打合2)・今は少佐 新大東ニ。官一四八
上峰史ト打連一九内令號ニ至ニ。五時中過ナリ、
大内愛七九果山史志改後我在窪田史既・在リハク
大内史・件・付會合ニ、所由一考ニ書致送向、時。
秘教方ヲ果山史〜。文部方面、意向ノ窪田史一又
北支方面視察希望ガ交渉ヲ太郎龍吉夫一中途ニ止
メ志改東一他端一切ハ便宜心懷ハ如器及
士スルモ、意味スルヤナキナリ、包收大時野ニ田宣

[illegible]

第1、2 题问一求一求改错，此、大内求、近况

五 月

26 (木) 晴

午前+時中可、東本葉テハ、増化趣知良利物、欠面リ
十一時可

午前+時中可、東本葉テハ、増化趣知良利物、欠面リ
十一時可

午前+時中可、東本葉テハ、増化趣知良利物、欠面リ
十一時可

午前+時中可、東本葉テハ、増化趣知良利物、欠面リ
十一時可

午前+時中可、東本葉テハ、増化趣知良利物、欠面リ
十一時可

五 月

27 (金) 晴

午前+時中可

午後

午前+時中可、東本葉テハ、増化趣知良利物、欠面リ

午前+時中可、東本葉テハ、増化趣知良利物、欠面リ

午後

午前+時中可、東本葉テハ、増化趣知良利物、欠面リ

午前+時中可、東本葉テハ、増化趣知良利物、欠面リ

五

17

$$28 (\pm) \frac{124}{4}$$

午前十時中名主 是、此處に於て文化・エリヤ等、面
我に一印方中名の 78.001 号：又今、此の全印に於て

4回、現気地、却り上、

7-10 西头渡歇前，中即观川支出一至，南地较宽，
前纪 + 即手，以手拂近。

正士令款一至，款答二心以二八令之第，+心
 以四申，中果，款答，依印以，第至士，依忠人，依心
 款答 二心以第

可、至りに時一王時、以村吏に令曉

才通兩合事(如圖)

中江、春日、佐賀、那珂、田中

五

14

29 (12) $\frac{2}{3}$

既以細情告送、一記事云、花山町、在、赤中島丁之
地木金生り、又又町丁ノ北ト、カ、ヲ、ナリ、故友史ニ有ル

朱子為所

一部黄印・Schall, 如文に "Portugal", 左一ツハ「^{イタリヤ}ポルトガル」
ナニト云々

五 14

30 (10) $\frac{12 \pm}{10}$

吉田の人物は、午前、時過境を回つて
自動車二台 仲仕三人 之、研交可、中島又往き
建築師棚橋一也
正午、吹雪平町迄、方果然し、古に杉立区村町
3町、求、心、ま、正境に至りて之を区に、
字、心、上、荷物、整理す

五 月

31 (大) 量

[illegible]

朝主主山村呂史一校計向連中一、現修通和共。又二
 例ラ正午道 報至町次開示也。代食山山上並に皆
 下り小張位若近衛仁、代食山新便向土校均心、
 以中、自動車ニテ上ル一正、町上トカレ。并、上ル
 一回無事、杉並区計町ニセ、計食一全
 甲島町一、本村久良町時、牛乳、牧場丸ニケル
 牛一頭車路押出
 夕方森人、火留向ニ去ル付
 町更野物、粗整、瓦掛、夕既、町入見、
 夕日ニシ波一ノ瓦

六 月

1 (水) 晴

二 計画、夢、午前四時吹、既、破、小夢、
ヤ、サ、大、場、心、方、可、リ

既、日、整、理、事、大、作、付、リ、普、信、一、
部、分、外、全、部、完、成

有、口、本、村、中、島、一、般、可、知、ル、故、友、史、に、
年、以、来、一、般、の、力、を、久、留、向、史、に、要、約、法、に、
付、注意、ス

大、分、使、ル、風、情、の、明、明、日、若、い、計、
現、在、の、信、頼、り、十、時、近、い、以、来、ス

午前、地、主、野、田、氏、訪、問、前、夜、二、軒、付、
村、の、第、一、第、二、村、一、般、の、理、解、又、内、部、二、軒、に、
接、触、

久、留、向、史、に、一、般、の、人、に、接、触、ス、又、午、後、史、に、一、連、
日、史、を、付、付、

六 月

2 (木) 晴

午前、一、時、過、去、史、に、二、軒、而、夜、夜、眠、
計、画、一、般、の、信、頼、り、ス、レ、ハ、一、般、の、信、頼、り、

午、後、一、時、付、去、史、に、二、軒、而、夜、夜、眠、

夕、方、近、可、市、中、一、般、の、信、頼、り、付、
又、田、主

下、在、中、山、村、島、史、に、

午、後、到、達、通、知、状、に、付、

六 四 四

3 (金) 時

政の川流に對し、對策を以て之を御す故に、未だ一確たる法なく
 宣旨の起草に役所一行の轉寄爲記の事、舊部
 情を其に記す

午. 以 掩 四 夫 人 來 訪

午以巳時出定，午即丁巳日萬全一至此日亥令，
新事一本元忠，曰忠、外野心、北村、江岸、志堅
，江右忠氣令，說漸忠、王支子氣，(?)、(?)、
說數到、入時散令 四氣

周周又與之 = 芝社 ~ 近以修葺整

六 四

4. $(\pm)^{\frac{1}{12}}$

午可十一等虫定之可

特告通知，梁 + 投函

子以四等，吹竽大凡。按五等，吹上野支木而，半周
行。既合，机旋行，车内束诸问题。同之。观其。新在
大明。付相族时，车与并立。大内总兵。而今大内改
为付本兵，能战。决意。表明。血德。表。意向。机米可以
是时。十一。更。于。观。外。与。征。行，大内表近。取。故，欠。近。以
与（上野表。大内表。而今。机板机）。付。向。表。安。全。地。带。
下。天。要。一。也。方。法。付。相。族。十。八。

二時中，以在九，係以一二三，四件起可，已編之全！
食事之世，一二三，四件，八時中，係以一二三，四件起可，已編之全！
四時中，係以一二三，四件起可，已編之全！

不在中山村品名未完，代皮山 part, 教完及
到子，事情所司是面一和心，持与十

今所存之《卷本》与一部史书同，皆即：朱主令
其事从之。其相读时全以焚成之。又（同）
锦戈来一，地草依此。其字（同）

六 月

5 (10) $\frac{1}{10}$

昨日閉告

轉告通下(課外研)

午の芝生: 11-3+7+1+2h

六 月

6 (17) $\frac{5}{17}$

中高一等吹奏、先入流長部便向、並、返還(二重支拂・付)、奉大經所主令入費り又、

柳心子内寄所：奥山ハ即丸ノ内ノ不在

新橋 - 古くは舞臺の北に、且森山、松林村
甲島、嶺東一、此物に北に望み、及平長、可定、堤防
の平長、望み、

午收 = 等本退虫所

大内變七史一覽記 不在，去收從藏史一覽記
大史記七史一覽記 不在，去收從藏史一覽記

简阳松林市·德竹健道太史·电话：028-3121
 车板友会光第区（今古）古叶思（子思）欠叶叶叶
 高叶叶叶

午の五時半に所、に改新始末。入り及唱子。
7時に上り買込、午後3時迄

六 月

7. (火) 情

午前、山崎先生より、秋の色を見せて、又、杜木堂へ
近、芝生地へ、杜木工へ、相談、棚橋先生へ
より、所々、送付、する、こと、に、決り、つ、け、る、こと、に、

[illegible]

井上己一大生所、津久大生、新佐時全所方机
行所大内登七生方机、井上己一大生

久留向東一經木嶋一乃東川、經、正一、既、向東
川、經、阿、川、越、控、銀、寄、子、一、乃、金、川、北、越、越、
渡、一、乃、北、久留向東、乃、由、一、乃、乃、乃、進、一、乃、

午以五時退所司

不在此 福田德子夫人牛竹，既

六 月

8. (1) $\frac{1}{2}$

状言、柏雨王、第ナ、中、ナ、ナ、此後胃腸、定食要ニ
 胃腸起ナ、在胃腸ナ、吐ナ、更、納、ハ、ナ、(流腸前)
 ナ、ナ、ナ、ナ、(流腸後) ナ、ナ、ナ、ナ、(流腸中) ナ、ナ、ナ、ナ、
 絶食、ナ、ナ、ナ

六 月

9 (本) 西

此の平山 高橋 = 戦場より此の戦場へ へる 2-2 子快

第10个一记。晚晴 7+2

メナ 毒ノ虫 牛ノオ 足舞、タノナリ 匠者「オラエ、ミリス

予亭贈詩 版本略一節史，此語心才

吸一口气 十分の五

六 月

10. (全)量.雨

大伴氏復讐の11巻の部類は、他は各1巻、704冊あり

巴地, 新地, 延地

ホトニル+ト 経ノ底事ニ 7大12

如久留而求其付，曰史之在己心也，都是中

可，電張一不要，即先卸更、決症，以寬人之意。全
氣，則其病即止。此為要之說也。

中) T-212 神戶方面、秋河丸 → 大連経由等

→ 行方は、使え、車両、船、切符、現金、現金

六 月

11 (土) 晴

高土のSSの臭味+水で洗って恢復

午前九時過ぎ迄大雨

お田舎二軒先一軒迄、子猫級計帰るに費
支拂方、お栗>お花に、お花= London、お栗
ん計り、お栗>お花に、お花= London、お栗
ん計り、お栗>お花に、お花= London、お栗

お栗+お花、お花+お栗、お栗+お花、お花+お栗、
お栗+お花、お花+お栗、お栗+お花、お花+お栗、

お栗+お花、お花+お栗、お栗+お花、お花+お栗、
お栗+お花、お花+お栗、お栗+お花、お花+お栗、

お栗+お花、お花+お栗、お栗+お花、お花+お栗、
お栗+お花、お花+お栗、お栗+お花、お花+お栗、

お栗+お花、お花+お栗、お栗+お花、お花+お栗、
お栗+お花、お花+お栗、お栗+お花、お花+お栗、

六 月

12 (日) 雨

昨日の雨、お栗+お花、お栗+お花、お栗+お花、お栗+お花、

お栗+お花、お花+お栗、お栗+お花、お花+お栗、
お栗+お花、お花+お栗、お栗+お花、お花+お栗、
お栗+お花、お花+お栗、お栗+お花、お花+お栗、
お栗+お花、お花+お栗、お栗+お花、お花+お栗、

お栗+お花、お花+お栗、お栗+お花、お花+お栗、

六 月

13 (17) 2/2

期々大財を、杉並区荻野便所へ軒下で他、
提出。行方帳、任長、曹路りた、賃と同時入取方した
7-1、分金同様、可味つた

[illegible]

7-01 午飯四時過 弄土堤一至一;
挖井泥長十呎叫本部長及全坡書記一試
改, 與之計入口和
五時開會, 本部長令哥一燒司、總令、各師:
田等

六 1)

14 (大) 大

午前十時、吹雪、 -10°C の低温、付近、森
へ、午後二時に本人、種痘、病マセ、本人、血気、
全、十二時近、名所

今年米西，挽回荒土，可收米，才针土，付法，合，
米西，经济，年，部，生，村，林，院，下，农，高，本，建，次，部，在，
很，可，指，收，本，地，一，部，在，共，而，今，村，林，地，口，本，收，计，正，火，
，新，出，表，演，唱，一，可，竟，收，用，一，可，一，一，一，一，一，一，一，一，
整，同，一，一，一，一，一，一，一，一，一，一，一，一，一，一，一，一，一，一，

野小、久留田、丸上、金谷、大由志、近江、
東通、大野、^{佐々木}金谷、徳本、^{中村}井手打合人
千坂、玉崎、足利、坂宅

15 (1) (2) 雨

4. 12 扣回率 = 即在本时. 依此也. 国际统计协

小石—地衣—云状，吐Wien 弃田慢云状—

卡以五等分完，凡由中央第一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

下村農の在(旧村)東朝社(堂)田常吹(石)農及
在(巴)巴、後田中(一)農、現(今)農(利)農(金)農

16 (本) 量-兩

午部 + 時字 女 完 女 可

[illegible]

以復史の可也然一依此、日及其時議一
形並に從可一具スル付筆録、皆實ニ同ニ批念ニ
有利、十二三ノ一、又ニ地立即田身大氏、考予
ヲ尤ト提考スル也

六 月

17(金)兩

4月6日时，两人未见面，此日统计向一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

ねんた電説: 翻訳文は、一足先で訂正、OK
 東文堂の換金表、2017年11月

年人、年交のり子連即、所：招子損義心
 日曜夕方より（土曜）の午心

非、在り、聖法、空、氣、血、付、心、付、可、
 方、貴、計、心、付、又、心、付、他、方、時、心、付、可、付、可、
 法、心、付、可、心、付、可、心、付、可、心、付、可、

校史-記事

午时王等中,思可回云

1. 校定—11. 培+化事3

六 日

18 (+) $\frac{2}{2}$

予前在文。校定

今收一等之文 古所

午以二等一四等山村吏人合德

于戊午年，次上野道輔史未訪，大内重七氏上
令兄某未之部大内土一太内氏の太内史人撰一日
詳解，求太内氏の太内史，全一系銘本以号之
史一切至漢經所至士令兄医師令録，令合十
質，史合太内氏の太内史

4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

六

月

19 (10) 2012

82.0 左支

朝人留向史生时，地本空，言一远，地本一十
说合，

午可+池+區藏+元+人 午+以 午+向+人. +思+元+人
4. 午

町、中島夫 午頃半、サリテ、荷物の、運入「リヤ」 $\rightarrow$

→ 東支歌 持寿 孝天 此 雲道 3

修改：旅行日程表

(省稅務局) 可得額 1,110 円 1 月 1 日 通知

平仁・幸島=丸一達彦→ゆりすー、若時間通
知=世話、頼み

六 月

14

20. (14) $\frac{1}{2}$

$$\frac{1}{2} \overline{AB} + \frac{1}{2} \overline{AC}$$

改定旅行日程 = 4月11日 早泊 = 釜山 - 釜山 - 松田
= 即東 - 送り 西汁の味

[illegible]

5-7/10/2020

[illegible]

7 小窓の底に 叩き下へ、右端の紙を

六 日

21

2冊及「標記氏統計書」2卷以上

又令張中、平木設計台長米可，車日聯合，
令張一妻與此，之第，行合。牛為六十四支路，
內兩部每季=規畫校訓，嘴抗及手者，行合
之後，則，本國諸所，投打才廿台也+12，平杜
表一莊人久留向=表一校打心→行去而

午の四時足寄書。上地本丸手、別一太内妻
七丸木可、一言の合談、
太内蔵より十阿比の通に、荒木文相へ控て
十太内丸、挨拶前、徳久外子昌「授書、幸」
挨拶、又、文相一机をすく、一級之、又、又、太
内氏、知人共並挨拶事正、又、又、同、
全の、今朝尾松木比鳥一部束、相年幾束の
折紙、一阿部寫事務所内、令会、性愛、現成
おろこ丸一証、
太内氏の荒木、即村、校壇氏と一太内忠人物
（付託）、可し、高上地、寄書二虎の元へ太内氏
ニカマシの切かん

大内氏ハ六時、吹野吉カ、地ニ大ト古ク時
今迄七時迄可、分張田意也ハ八時、
吹一ノ



